

校内研修推進計画

1 研究主題及び副主題

自分の考えを筋道立てて表現し、学びを深め合う児童の育成
～算数科における既習学習を生かした学習支援の工夫の充実～

2 主題設定の理由

(1) 児童の実態から

本校の児童は明るく素直で、何事に対しても真面目に取り組む児童が多い。学習においても、落ち着いて取り組み、基本的な学習規律が身についている児童が多い。また、授業中積極的に自分の意見を発表する児童も多いが、中には発言に対して消極的で、人前で発言するのが苦手な児童も少なくない。

算数科では、単元後のテストにおいて、おおよそ学習内容を習得できている児童が多いと考えられるが、一方で低位の児童も見られ、学力の差があると感じる。また、新しい課題に対して、既習学習を生かして解決しようとしたり、図や式を使って求めたり、複数の方法で考え出したりということに対しては、消極的になってしまう児童が多い。さらに、表現力についても、自分の考えた方法を筋道立てて説明したり、他の児童の意見を聞いて自分の意見と比較したり、考えを練り直したりする児童はごくわずかしかない。

このような児童の実態から、単なる計算力を身に付けるだけでなく、数学的な見方・考え方を働かせて、数学的に、とりわけ、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見い出し、統合的・発展的に考察する力の育成が重要であり、そのために、表現力特に筋道立てて説明する力を養うことが必要であると考えた。

(2) 今日的な教育の課題から

昨年度から小学校新学習指導要領が本格的に施行され、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている。その解説の中には、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を考えることは単元や題材などのまとまりをどのように構成するかデザインを考えることにほかならない」と説明している。また、「はばたく群馬の指導プランⅡ」の中に、「主体的・対話的で深い学び」にするための授業づくりでは、多様な考え方に触れ、自分の学びを広げたり深めたりできるような対話的な場面をつくることが重要であると示されている。

このようなことと、本校の児童の実態（1）から、昨年度より「問題解決的な授業づくり」について研究を進めてきた。今年度は2年目として、児童の「筋道立てて表現する児童の育成」に重点を置き、既習学習を生かして問題を解決していく中で、児童の表現力を育成していきたいと考える。

(3) 研究のあゆみから

本校では3年前より2年間、「外国語活動・外国語科」に焦点を当てて研究を行ってきた。「自然に外国語活動を用いてコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」を目指し、必然性のある場面設定、児童の理解力と学習意欲を向上させる HRT と ALT のデモンストレ

ーション、常にリアクションをとることが意識できるような教員の働きかけなどの取組を行ってきた。その結果、会話の中で相手の目を見て頷いたり、リアクションをとったり、簡単な会話が出来たりと、児童のコミュニケーションを図ろうとする姿が多く見られるようになってきた。

一方で、日々の学校生活の中での児童の様子を見ると、教員や地域の大人に話しかけられても決まりきった返答しかできない児童が多く、会話が広がらない様子が見られる。また、話し合いなどの場面でも一方向な発表・報告をすることにとどまってしまい、お互いの意見に言及し合うような姿があまり見られない。

そこで、他の教科においても児童の表現力を養うことの重要性を感じ、昨年度からは算数科に視点を当てて研究を進めてきた。これまでの研究のあゆみ、そして児童の実態を考え、「自分の考えを筋道立てて表現し、学びを深め合う児童の育成」をテーマに研究を進めている。

3 研究のねらい

算数科の学習において、既習学習を活用し、思考過程を整理できるような支援を工夫することは、数学的な見方・考え方を働かせ数学的な資質・能力を高め、「自分の考えを筋道立てて表現し、学びを深め合う児童の育成」に有効であることを明らかにする。

4 目指す児童像

自分の考えを言葉、式、図、表などを用いて、筋道立てて表現し、友だちの考えを聞いて、自分の考えと比較し、共感したり、自分の考えを練り直したり、より深めたりする児童

低学年	中学年	高学年
○自分の考えを具体物、言葉、式、表、図などを用いて順序立てて表現し、自分の考えと友達の考えとを比較することができる。	○自分の考えを言葉、式、図、表、グラフなどを用いて筋道立てて表現し、自分の考えと友達の考えのよさに気付いたり共通点や相違点に気付くことができる。	○自分の考えを言葉、式、図表、グラフなどを用いて筋道立てて表現し、友達の考えと比較し、共感したり、自分の考えを練り直したり、より深めたりすることができる。

5 研究の内容と方法

(1) 研究の基本構想

学校教育目標 生きる力あふれる橋北小の子
○心ゆたかな子 ○いきいきと学ぶ子 ○元気でたくましい子

研究主題

「自分の考えを筋道立てて表現し、学びを深め合う児童の育成」
～算数科における既習学習を生かした学習支援の工夫の充実～

<目指す児童像>

自分の考えを言葉、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道立てて表現し、友達の考えを聞いて、自分の考えと比較し、共感したり、自分の考えを練り直したりより深めたりする児童

見通し①

既習学習を活用し、思考過程を整理できるような支援の工夫をすることで、見通しを持たせて児童が自分の考えを筋道立てて考えることができるようにする。

見通し②

学び合いや意見交流を通して、様々な考え方や表現のよさに気づき、自分の考えを練り直して筋道立ててよりよく表現できるようにする。

- ・ 前向きな態度で授業に臨み、発問に対して積極的に発言する児童がいる。
- ・ 各自が考えたことを順番に発表し、報告することはできる。
- ・ 問題に対して、根拠やその解答に至るまでの経緯を説明するのが苦手である。
- ・ 話し合いの場において、一方向の発表はできるが、他者の意見に耳を傾け、自分の考えを練り直すことが苦手である。
- ・ 課題に対して、既習学習を生かして解決しようとする姿があまり見られない。
- ・ 問題に対して、言葉、図、式や表を使って解答することが苦手な児童が多い。

(2) 研究に関するキーワードの解釈と説明

「自分の考えを筋道立てて表現する」とは

与えられた課題に対して、既習事項などをもとに見通しをもちながら自分の考えをもち、考えたことを整理しながら、順序立てて説明をすること。

「学びを深める」とは

問題解決に向けて、児童同士で話したり、教職員や地域の人々と話したり、文献や作品などを手掛かりに作者の意図を考えたりすることにより、一人では気づけなかったことに着目することができたり、様々な意見や考え方を聞き、共感したり自分の考えに自信がもてたり、相手に説明することで、自分の考えをより明確化することができたりすること。

「既習学習」とは

今までに学習した知識や技能・考え方・表現の仕方、今までの生活経験や学び方。

(3) 検証計画

①検証の観点

- 既習学習を活用し、思考過程を整理できるような支援の工夫をすることで、児童が自分の考えを筋道立てて考えることができるようになったか。
- 学び合いや意見交流を通して、様々な表現のよさに気づき、自分の考えを練り直し、筋道立ててよりよく表現できるようになったか。

②検証の方法

- ・児童に対する実態調査
- ・教員に対する実態調査
- ・ワークシートやノートの記述の変容
- ・授業中の発言や問題に取り組む姿勢の変容

7 研究計画

月	日	曜		主な内容
4	19	月	校内研修【1】	・研究主題、副主題の決定と研究の方向性についての検討 ・代表授業の持ち方の検討 ・研究の構想についての提案、検討
5	17	月	校内研修【2】	・校内研修推進計画の提案、検討 ・「目指す児童像」の確認、共有 ・研究の具体的な手立てについての検討 ・児童アンケートの内容検討 ・各ブロック代表授業者の決定
6	21	月	校内研修【3】 (アンケート実施)	・児童アンケートの実施のお願いについて ・抽出児童の確認、ブロックごとの打ち合わせ ・代表授業者の確認 ・GIGAスクールについての研修
7	19	月	校内研修【4】	・指導案の書き方の提案・共通理解 ・教員一人ひとりが授業案を考える単元の提示 (次回校内研修までの課題) ・抽出児童の成果物の見せ合い

8	20	月	～夏季休業中～ 校内研修【5】	(・各学年教材室の教材・教具の点検と整備) ・ 前回の研修で提示された単元について各自で考えてきた授業案の発表会・検討 ・ 各ブロックでの研修(代表授業の内容の検討等) ・ 教員指導力向上ミニ研修会①
9	12	月	校内研修【6】	・ 代表授業の指導案検討、実践、授業研究会 ・ 代表授業の成果と課題から手立ての確認、修正(・人権の代表授業の指導案検討)
11	15	月	校内研修【7】	・ 代表授業の指導案検討、実践、授業研究会 ・ 代表授業の成果と課題から手立ての確認、修正 ・ 「北橋町生涯学習を進める会」研究紀要の様式の確認と執筆の分担(・人権の代表授業の実践、授業研究会) ・ 教員指導力向上ミニ研修会②
12			(アンケート実施) ～冬期休業中～	・ アンケート集計 ・ 紀要の原稿作成
1	17	月	校内研修【8】	・ 児童アンケートの集計結果の周知 ・ 1年間の研究の成果と課題について、各ブロックでの話し合い
2			校内研修推進委員会	・ 次年度へ向けての計画、検討
2	28	月	校内研修【9】	・ 1年間の研究の成果と課題について周知 ・ 次年度へ向けての計画、立案

8 研究組織

